

## セーフティアラーム付高圧検電器 取扱説明書

# SEC-7700

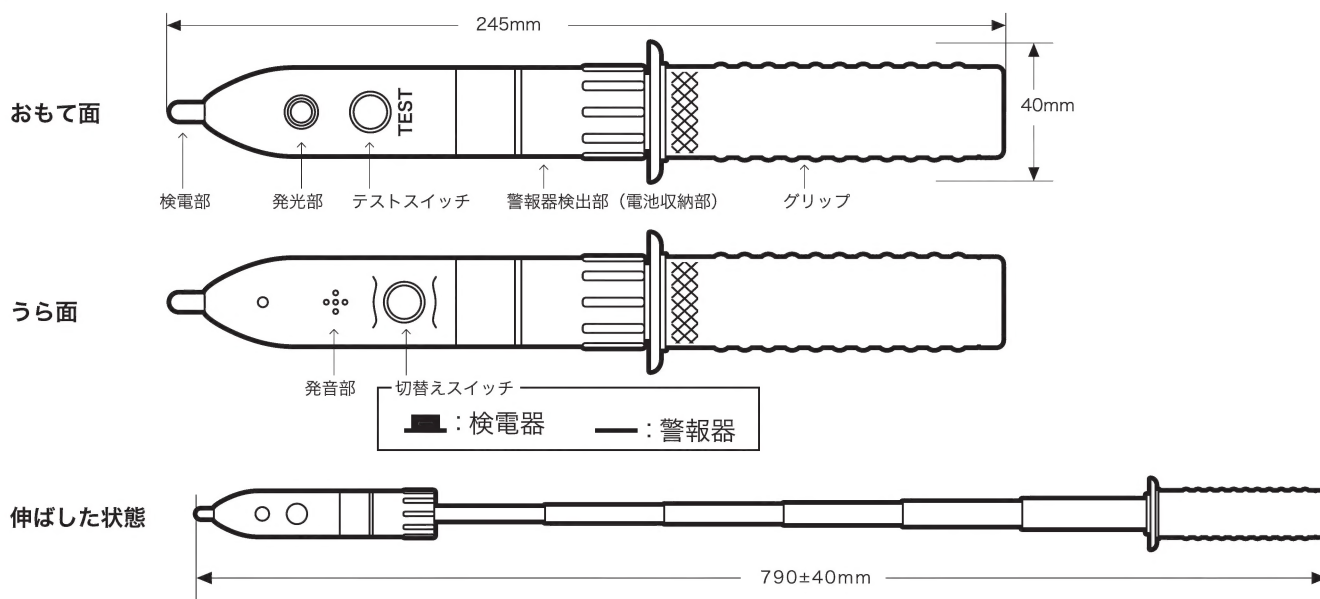
このたびは、セーフティアラーム付高圧検電器(SEC-7700)をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。  
ご使用にあたっては本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。お読みになった後は、大切に保管してください。

<b>危険</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高圧検電を行う時は、必ず高圧用絶縁ゴム手袋を着用し、グリップ以外に触れないようにしてください。</li> <li>● AC7000V を超える電圧には使用しないでください。</li> </ul>
<b>警告</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ご使用前に必ず既知の電源で動作確認してください。</li> <li>● 本器の外観構造に異常がないかを確認してください。</li> </ul>
<b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 保管する場合は直射日光の当たらない乾燥した所に保管してください。</li> <li>● ほこりの多い場所、水に濡れる場所では使用しないでください。</li> <li>● 子供に触れさせないでください。</li> <li>● 落下、振動、衝撃など強い力が加わらないようにしてください。故障の原因になります。</li> <li>● 長時間使用しない時は、電池を取り外して保管してください。</li> <li>● ご使用前に、テストスイッチにより発音・発光を確認してください。動作しない、発音・発光が弱い場合は、電池を交換してください。</li> </ul>

### 特 長

- 高圧検電器と活線警報器が一体化
- 収納時約 25cm、伸ばすと約 80cm。小型で使い易い。
- 携帯用ホルダー付。

### 各部名称・寸法

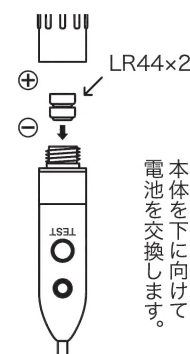


### 電池の挿入・交換方法

動作時において、ブザー鳴動するが、LEDが点灯しない場合は、新しい電池と交換してください。

- ① 電池が落下しないように、本体を下に向けて、カバーを回して外します。この時、グリップ、竿を持って回さないでください。
- ② 本体シールに従って、電池の+、-を合わせてセットしてください。
- ③ カバーを回して締めてください。

**注意** 付属の電池は動作確認用です。ご使用時は新しい電池をご用意ください。



## 使用方法

### 「検電器」の使用方法

#### 使用前の確認

- ① 外観・構造に異常がないか確認してください。
- ② テストスイッチを3秒間押して発音・発光が正常であるか確認してください。  
(図-1 参照)  
テストスイッチは、切替スイッチが「検電器」の状態の時だけ動作します。
- ③ ご使用前に既知の電源で検電の動作確認をしてください。

△ 注意 使用しない時は、切替えスイッチを「検電器」の状態で保管してください。  
切替えスイッチは「検電器」「警報器」いずれの状態でも検電を行います。

切替えスイッチ : 検電器 : 警報器

#### 1. 低圧検電

- ① 本体を縮めた状態で、グリップをしっかりと握ります。
- ② マーク部に指が触れている状態で検電します。(図-2 参照)
- ③ 対象電路(AC100V ~ 200V)に検電部を直接接触させてください。  
(図-3 参照)

#### 2. 高圧検電

- ① 本体を伸ばした状態で、グリップをしっかりと握ります。
- ② 対象電路(AC 6600V)に検電部を直接接触させてください。(図-4 参照)
- ③ この時、必ず高圧用絶縁手袋を着用してください。



図-1 使用前のテスト

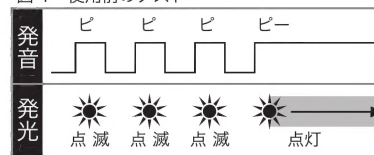


図-2 マーク部

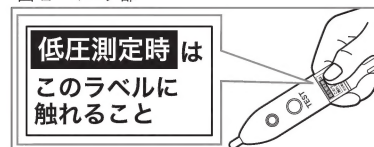


図-3 低圧検電時の発音・発光

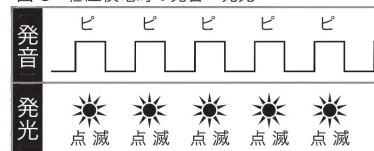
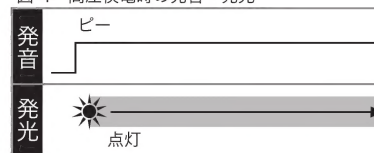


図-4 高圧検電時の発音・発光



### 「警報器」の使用方法

#### 使用前の確認

切替えスイッチを「警報器」にし、AC100Vの電線被覆を警報器検出部に接触させて、動作確認をして行ってください。(図-5 参照)

#### 使用方法

- ① 切替えスイッチを「警報器」にしてください。
- ② 本体を付属の収納ホルダーに入れて、腰ベルト等に装着してください。
- ③ 高圧充電部に接近すると、ブザー断続音・LED点滅します。  
検電器の発光・発音と異なります。(図-6 参照)

△ 注意 1. 警報開始距離60cmは、充電部と警報器検出部間に遮蔽物がない場合です。  
(図-7参照)  
2. 警報器検出部を着布等で覆わないでください。作業等で検出部を覆うと  
警報開始距離が短くなったり、反応しない場合があります。  
3. 警報器を装着したことによる安全を過信しないでください。  
4. 周囲の環境、方向、遮蔽物等により、警報開始距離が変わります。  
5. 電磁波を発生する機器の近くで反応する場合があります。

図-5 動作確認

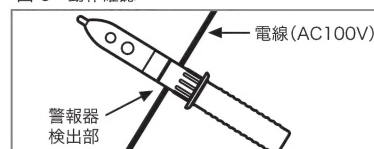


図-6 警報器の高圧接近時の発音・発光

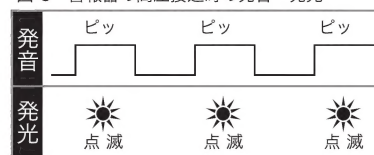


図-7 警報開始距離



## 仕 様

検 電 部	
使用電圧範囲	AC80V~AC7000V 50/60Hz
定格動作開始電圧	低圧 AC80V±15V (縮めた状態でマーク部に手を触れて検電)
充電部に接触させて動作を開始する対地電圧	高圧 AC1800V±200V (伸ばした状態でグリップを持って検電)
高圧動作距離 対地電圧3.8KV	2mm 以内
絶 縁 抵 抗	100MΩ以上(検電部とグリップ間)
絶 縁 耐 力	AC20KV、1 分間(検電部とグリップ間)

警 報 部	
警 報 開 始 距 離	6.6KVにおいて、60cm
周 波 数	50/60Hz
共 通	
使用温度範囲	-10℃ ~ +40℃
使用電池	アルカリボタン電池 LR44 × 2 個
電池寿命	連続動作 約8時間
質 量	約145g(電池含む)
付 属 品	収納ホルダー、電池(動作確認用)